

【データ作成コース 内容】

1 章 ラスタ

ラスタデータ（画像データ）の読み込み、編集、幾何補正（画像の座標点の補正）について説明します。

- 1-1 ラスタデータの読み込み
- 1-2 ラスタデータの編集
- 1-3 ラスタデータの幾何補正
- 1-4 ラスタデータの表示設定

2 章 タイル出力

広域のデータを効率よく扱うためのタイル出力の操作と、タイル出力したファイルの読み込み方法について説明します。

- 2-1 タイル出力
- 2-2 タイル出力したファイルの読み込み

3 章 作図/ 変更

作図の事前準備と、作図編集に関する主なコマンドについて説明します。

- 3-1 作図の事前準備
- 3-2 図形の作図と編集

4 章 ライブラリ

ライブラリの操作方法について説明します。

- 4-1 ライブラリの操作

5 章 シンボル

図形をシンボルとしてライブラリに保存する方法や、シンボルの編集方法を説明します。

- 5-1 シンボルの保存
- 5-2 シンボルのインポート
- 5-3 シンボルの編集
- 5-4 シンボルの表示の変更

6 章 スタイル

スタイルの作成・設定方法と、ライブラリにペンとブラシを作成する方法について説明します。

- 6-1 ペンの設定
- 6-2 ペンの作成
- 6-3 ブラシの設定
- 6-4 ブラシの作成

7 章 地物テーブル

地物テーブルの概要、編集方法、新規に作成する操作について説明します。

- 7-1 地物テーブルとは
- 7-2 地物テーブルの編集
- 7-3 地物テーブルの新規作成
- 7-4 地物テーブルを利用した表示制御
- 7-5 地物テーブルのまとめ

8 章 データ編集

作図編集に関する主な操作について説明します。

- 8-1 図形の編集
- 8-2 同じ属性の値でアイテムを併合

9 章 プロセス

プロセスの機能を利用してデータを作成・編集する方法について説明します。

- 9-1 プロセスとは
- 9-2 ポイントからラインを作図
- 9-3 全ユーザ属性削除

10 章 ViewPoint データセット

座標値が記述されたデータの読み込み方法について説明します。

- 10-1 座標値が記述されたデータの読み込み
- 10-2 座標値が記述されたデータの更新

11 章 出力

異なるファイルフォーマットへの出力と印刷について説明します。

- 12-1 異なるファイルフォーマットへの出力
- 12-2 印刷
- 12-3 プリントテンプレートの作成
- 12-4 プリントテンプレートを使った印刷
- 12-5 印刷イメージの編集と印刷

12 章 サンプル・ツールプログラム

アドオン機能のサンプルプログラム・ツールプログラムについて説明します。

- 12-1 サンプル・ツールプログラム
- 12-2 分割印刷